

ダブルチェックは徹底できていますか？

ダブルチェックの意味

A 時間をずらして二人目が確認

- ①二つの関門を通してエラーの確率をさげる ②違う視点でのチェックが可能



B 二人が役割を分担し、(相互に声を出しあって) 確認・音声にすること、他者に説明することで

- ①自分の行為を「意識化」する ②行為の意味を明確化する

ダブルチェックの留意点

- ・機械的なダブルチェックなら有効性は低い

なぜ、なんのために“この薬”か、“この操作”か、を考えながら確認する

- ・忙しいときほど必要

- ・A,Bのいずれでも「責任の分散」が起こる危険（「誰かが気づいてくれるだろう」という安易さ）を自覚する

- ・責任を明確にする、サインのルールを作る

文献 山内桂子：ヒューマンファクターの視点から リスクマネジメントを考える

※ダブルチェックは、看護師間だけではなく、患者様に名前を確認してもらうなど患者・家族の参画も視野に入れ、何に、どの、ダブルチェックが意味があるのか各施設で検討してみてください。